

食育事業取組報告書(東豊小)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	令和7年5月～令和8年2月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	1:教諭 2:栄養士 3:アスパラガス栽培指導者 JA北新潟 4:調理実習ボランティア 15名
単元名	わたしたちのしばた もっと調べ隊!		
ねらい	新発田市の特産品であるアスパラガスを、実際に栽培・調理・試食したり、その栽培や普及に携わっている方々の思いや願いにふれたりすることを通して、アスパラガスの魅力や課題、栽培の苦労や工夫、努力等を知り、新発田市産アスパラガスを広く多くの人に知ってもらえるような活動を考え実行するとともに、これからの新発田市への思いや願いをもち、よりよい生活をしていくことができるようにする。		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<ul style="list-style-type: none"> ◆前年度、アスパラガスの栽培・調理の活動に取り組んだ4年生からアスパラガスに関する話を聞いたり、それを踏まえた質問をしたりする。 ◆アスパラガスの栽培等にかかわるゲストティーチャー(以下、GT。)からの講話を聞くことを通して、アスパラガスの特徴や栽培方法等を知り、栽培に向けた思いや願いをもつ。 ◆4年生にアスパラガス栽培を引き継がせてほしいことを伝える。 ◆同じ学年の仲間やGTと協働して、畑づくりや苗植えを行うとともに、日々様子を観察したり、生長できるような環境を整備したりすることを通して、栽培の難しさや苦労を知る。 ◆アスパラガスを自分たちの手で実際に調理し、試食する。 ◆これまで体験してきたアスパラガス栽培にかかわることや、調べ学習で得た知識等をクイズ形式でまとめ、発表する。 ◆これまでの活動を振り返り、自らの学びや新発田市産アスパラガスに対する思いや願いを、パンフレットとしてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な存在である上級生の話を聞いたり、実際に校地内で栽培されていたアスパラガスの畑を見学したりして、新発田市の特産品であるアスパラガスと出合わせ、興味・関心をもてるようにする。 ・数年前から校地内でアスパラガス栽培を行っていることを知り、栽培に向けた意欲をもてるようにしたり、GTと出会うことができるようにする。 ・GTの講話等から、アスパラガス栽培に向けて意欲が高まったことを、言葉や文章等で4年生に伝え、栽培活動を引き継げるようにする。 ・GTや栄養士、地域ボランティアからの協力を得ながら、アスパラガスを使った料理を実際に調理できるようにする。 ・調理実習や発表会の様子を家庭やメディアに発信することで、家庭や地域と連携した食育事業の推進を図ることができるようにする。 ・これまでの活動をまとめることを通して、アスパラガスの魅力を再認識するとともに、栽培にかかわっている方々の苦労や努力を知ることができるようにする。 	  
成果と課題	<p>【成果】 実際にアスパラガスを栽培・調理する体験活動を展開していくことによって、児童はアスパラガスのおいしさや魅力だけでなく、その裏にある、栽培にかかわる方々や普段栄養バランスを考えて調理してくれている家の人の苦労を実感することができた。それによって、児童はそういった方々へ感謝の気持ちをもつとともに、学習材の奥にある「ひと」の温かさや魅力をも実感することができた。</p> <p>【課題】 新発田市産アスパラガスの現状や課題についてより深く学んだり、適切に捉えたりすることで、その普及や発展に向けた働き掛けを行うことができた。</p>		
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習活動を、定期的に学年・学級だより等で知らせた。 ・栽培や調理の際、地域コーディネーターと連携してボランティアを募り、学習活動に幾度も参加していただいた。 		